

## 台南市への経済訪問団の派遣について

### 1 目的

昨年 12 月に締結した「山形市と台南市との友好交流促進に関する協定」に基づき、経済・観光分野における交流を深めることを目的として、本市から台南市へ訪問団を派遣する。

2 派遣期間 平成 30 年 11 月 14 日（水）から 11 月 18 日（日） 4 泊 5 日

3 派遣場所 台湾 台南市、台北市

### 4 訪問団のメンバー

- 市長
- 山形市議会（副議長、議員 4 名）
- 山形県日華親善協会（会長、会員）
- 山形商工会議所（会頭、副会頭 3 名、専務理事、会員）
- 随行職員（総務部秘書課長、総務部国際交流センター所長） 約 30 名

### 5 予定されている主な内容

- 「大台南国際トラベルフェア」の視察
- 「新光三越日本商品展」で開催される山形市物産プロモーションの視察
- 駐台南市日系企業の視察・訪問
- 台南市長、台南市議会議長への表敬訪問
- 国立成功大学で開催されるシンポジウムへの参加
- 台南市政府主催の歓迎会 など

### 6 行程表

	月日	行程
1	11/14 (水)	山形駅（新幹線）→ 東京 → 羽田空港着・発 → 台北松山空港着 【台北市泊】
2	11/15 (木)	午前：台北市視察 午後：台南市へ移動 夕方：台南市長表敬、議長表敬 夜：台南市主催夕食会 【台南市泊】
3	11/16 (金)	午前：大台南トラベルフェアの視察 午後：現地の日系企業へ視察 【台南市泊】
4	11/17 (土)	午前：新光三越日本商品展の視察 午後：新幹線で台北市に移動 【台北市泊】
5	11/18 (日)	台北松山空港発 → 羽田空港着・発 → 山形空港着 貸切りバスで山形市役所

平成30年10月22日

市長記者会見資料

## 新光三越台南新天地での山形市観光物産プロモーションについて

### 1 目的

平成29年12月6日に締結した「山形市と台南市の友好交流促進に関する協定」に基づき、台南市内の百貨店において、山形市のPRや物産販売を行い、台南市における山形ブランドの価値向上及び友好交流の促進を目的とする。

### 2 開催期間

平成30年11月14日（水）から11月28日（水）まで（15日間）

### 3 開催場所

新光三越台南新天地 6階 催事場（台南市西門路一段658号）

### 4 内容

- (1) 台南市の高級百貨店において開催される最大規模の日本物産展「新光三越日本商品展」に山形市ブースを出展することで、山形ブランドの価値向上及び友好交流を図る。
- (2) 山形市のPR及び観光誘客コーナーの設置
  - ① 山形市長による記者会見の実施（11月17日）
  - ② ミス花笠による山形PR及び花笠踊りの披露（11月17日・18日）
  - ③ 山形の伝統こけし工人による製作実演（11月24日・25日）
  - ④ 山形市観光コーナーの設置（観光パネル・パンフレット・DVD放映、山形市のお宝広報大使「はながたベニちゃん」グッズの配布）
- (3) 山形特産品の販売
  - ① 食料品ブース（菓子類）
  - ② 伝統工芸品ブース（山形鋳物、こけし）
  - ③ 地酒ブース（日本酒・梅酒・焼酎の販売）

問い合わせ先

商工観光部山形ブランド推進課

TEL023-641-1212 内412

平成30年10月22日

市長記者会見資料

## 仙山連携による大台南国際トラベルフェアへの出展について

### 1 目的

共に台南市と友好協定を締結している仙台市と連携し、台南市及び周辺地域の住民に対し仙山地域が一体となった魅力ある観光地として紹介することにより、台南市及び周辺地域から仙山地域への誘客を図る。

### 2 日時

平成30年11月16日（金）～19日（月） 各日10:00～18:00

### 3 場所

南紡ワールドトレードセンター（台南市仁徳区義林路77号）

### 4 内容

- ・台南市旅行商業同業協会が主催する大台南国際トラベルフェアに、仙台市と共同で出展し、仙山地域への誘客に向けたプロモーションを行う。

<出展内容（予定）>

動画による仙山地域の観光地紹介、VRによる蔵王温泉スキー場の体験、来場者アンケート、ノベルティ配布、ポスター・パンフレットによるPR等

- ・16日10:00より開催される開会式に市長が出席。

#### 【参考】

- ・2017年開催時の来場者数…約13万人（主催者発表）
- ・出展予定の国内自治体…静岡県、香川県、弘前市、金沢市、大津市、島田市、富士宮市、藤枝市、焼津市、群馬県みなかみ町  
（自治体名は10月11日時点で公式HPに記載のもの）

問い合わせ先

商工観光部観光戦略課 DMO 推進グループ

Tel.023-641-1212（内線425）

平成30年度(第45回)山形市伝統的工芸産業技術功労者褒賞受賞者の決定について

1. 褒賞の目的

伝統的工芸産業技術の保存及び後継者育成を図るため、長年にわたり伝統的工芸産業に従事し、技術・技法の伝承に尽くされ、業界振興に多大な貢献をなされてきた方々を褒賞するもの。

2. 選考基準

- ①技術技法の伝承と発展に寄与した者
- ②後継技術者の指導育成に努め、その功績が顕著な者
- ③経験年数満30年以上を有し、かつ年齢が満50歳に達した者
- ④社会の福祉、環境の整備その他公益事業等に貢献し、功績が顕著な者

3. 受賞者3名



山形鋳物 原田 伸一 (67)  
【有限会社月山堂】

山形鋳物の特徴でもある様々な素材の鋳金技術に長けた数少ない作家であり、中でもアルミニウム鋳金を得意としている。「多様化した時代に趣と潤いを与える」ことをモットーに自分が表現したいものをいかに形にするかを追及した作品製作に打ち込み、各種展覧会において数多くの作品が入選を果たしている。  
自社工房において鋳物製造の体験教室を開催したり、公民館主催の鋳物体験教室の講師を長年担当するなど、地域への貢献も多大である。



山形仏壇 高橋 勢一 (75)  
【高橋仏壇彫刻所】

高校に進学すると同時に父に師事し、父と2人で彫刻業を営むなか、仏壇、仏具はもとより、数多くの神社仏閣の彫刻制作に携わった。  
手がけた彫刻は、仏壇製作に携わる職人の方々からも手直しの必要がない仕上がりだと定評がある。組合彫刻部の部長を長年務め、製品完成までの計画づくりや役割分担を中心となって取りまとめている。「山形伝統工芸神輿」の製作の際も部長としての役割を担い、上部の鳳凰、鶴、鷹、鶯の彫刻を担当し、その技術を披露することで山形仏壇の魅力の周知に大きく貢献した。



刺し子 小林 和子 (66)  
【みちのく刺し子】

針と糸によって描かれる美しい「刺し子」の世界に魅了され、基礎となる伝統的な模様を描く技術習得に励んだ。伝統を守りながらも型にはまらない新しいものを生み出すことを大事にした作品作りは多方面から評価されている。その活躍は日本に留まらず、海外の見本市にも実演工人として招待され、日本伝統文化を広く知らしめた。  
「みちのく刺し子」の店主として、刺し子を手軽に親んでもらえるよう、自宅での教室のほか、やまがた文化センターでの講習会を20年以上に渡り行い、その魅力の普及に尽力している。

4. 褒賞式

- (1) 日時 平成30年11月2日(金) 午後4時30分～
- (2) 会場 山形グランドホテル3階「白鳥」

【問合せ先】  
山形市商工観光部山形ブランド推進課  
TEL023-641-1212 内413

## 山形市伝統工芸産業後継者育成対策プロジェクト

### ガバメントクラウドファンディング

- 1 **事業目的** 山形市の伝統工芸産業が直面している後継者不足の問題の解決へ向け、技術の承継を図ることを目的とした各種事業を取組むための支援を募る。
- 2 **公開期間** 平成30年11月9日（金）～ 12月31日（月）（予定）
- 3 **目標金額** 2,000,000円  
（伝統工芸産業後継者育成対策事業費2,695千円に充当する）
- 4 **募集形態** All-in方式  
※寄附総額が目標金額に到達するか否かに関わらず、集まった寄附金を受け取れる方式
- 5 **返礼品目** ふるさとチョイス内、当市GCFページに20品目程度掲載し、寄附金額に応じて寄付者よりお選びいただく。  
<掲載予定品>・当市ふるさと納税返礼品である伝統工芸品のほか肉、米、およびさくらんぼ先行予約（16種類程度）  
・和傘、漆器、鋸、特技木工の商品（GCF限定商品、各1種類）  
※山形市に住民登録をされている方には、お礼の品を送付いたしません。
- 6 **実施事業**
  - (1) **伝統的工芸産業後継者育成助成金（H30年予算：800千円）**

山形市の伝統工芸産業の事業者が新規雇用など後継者を育成するための事業を行う場合に、その事業者に対し育成経費の一部を助成する。

○H30年度補助金交付決定事業者 ・清光堂工芸社【山形鋳物】  
・菊地保寿堂【山形鋳物】

○対象者：修業者（就業後5年以内で、満40歳未満（子弟を含む））を雇用し、伝統工芸の技術を習得させ、後継者として育成しようとする事業者。

○補助金額：年間40万円限度（2年限度）

○対象業種：鋳物、仏壇、打刃物、こけし、平清水焼、漆器、鋸、指物家具、建具、和傘、張子、桶・樽、桐紙・桐箱、籐工芸、石工品
  - (2) **職人と学生の交流事業（H30年予算：395千円）**

山形市の伝統工芸産業に携わる職人ともものづくりを学ぶ学生の交流の機会を創出し、ものづくりに対する思いや発想に基づいて意見を交わすことや連携して作品を製作する活動などを通じ、事業者の技術承継機運を高め、後継者育成の推進を図る。

○平成30年度（受託者：東北芸術工科大学 契約額：395千円）

- 事業内容 ①職人と学生の交流の機会の創出（伝統工芸品に関する感想・アイデア等の交換会議開催）  
②職人と学生が連携し、伝統工芸技術を用いた新しい製品の開発に取り組む。  
③伝統的工芸品まつりでの成果発表及び、芸工大生による事業の紹介

### (3) 伝統工芸産業修業者支援給付金（H30年予算：1,500千円）

山形市の伝統工芸産業のうち、同一業種の事業者が3者未満であり、早急に事業の承継に取り組むべき業種の事業者（漆器、特技木工、鋸、和傘）から技術承継を図る場合に、その修業者に対し、給付金を交付する。

○H30年度給付金交付決定業種：和傘【古内和傘店】

- 対象者 ①給付金交付申請書の提出を行う時点において、この市に住所を有している者  
②後継者育成を図る事業者の直系親子以外の者  
③申請時点において、交付対象業種に従事していない者又は交付対象業種に従事してから5年以内の者であり、かつ、満年齢55歳未満の者  
④技術等の習得に取り組み、将来的に事業を承継する意思がある者又はこの市の地域内で独立を目指す者  
⑤この市の市税を滞納していない者。

- 補助金額 ・給付金の額は、年間150万円を限度額とし、最長3年間の給付を限度とする。  
・給付金は月毎の交付とし、当該年度の山形県最低賃金の時間額に修業時間を乗じた金額を交付し、月80時間未満の場合は交付の対象外とする。（平成30年度は1名分150万円を予算化）

○対象業種：給付金の交付の対象となる業種は、山形市の伝統工芸産業のうち、同一業種の事業者が3者未満であり、次に掲げる業種とする。

- (1) 漆器（権之助塗の漆器）
- (2) 特技木工（高瀬地区で造られる杵・臼を中心とした木工品）
- (3) 鋸（打刃物の鍛造技術を用いた手作業で造る鋸）
- (4) 和傘

## 7 事業情報

ふるさとチョイス内ガバメントクラウドファンディングページ参照  
※URLは現在ページ作成中のため出来次第

### 【問い合わせ先】

商工観光部 山形ブランド推進課  
ブランド戦略グループ  
TEL：023-641-1212 内413

「平成 30 年度（第 55 回）三浦記念賞」受賞者の決定について

1 受賞者（2 個人）

	氏名	年齢	住所	主な役職
1	あべ たつし 安部 辰志	66 歳	東京都千代田区 (山形県高島町出身)	学校法人大原学園 学園長
	<p>大原簿記学校に入職後、学園長の現職に至るまで、長きにわたり若者の実学教育と人間形成教育に力を注がれてきました。</p> <p>平成 29 年 4 月には、「山形県出身者として若者の地元定着に寄与したい」との思いから、JR 山形駅西口に大原簿記情報ビジネス医療福祉専門学校と大原スポーツ公務員専門学校の両校を併設した大原学園山形校を開校、本県の若者が地元で学び地元へ就職するという地域教育環境を整備し、企業の即戦力となる人材の育成に尽力しており、地元定着による地域活性化に大いに貢献していただいております。</p>			
2	ごとう かんじ 後藤 完司	70 歳	山形県山形市	山形建設株式会社 代表取締役社長 山形商工会議所 副会頭 山形県日華親善協会 会長
	<p>山形建設株式会社の代表取締役として同社を率い、常に時代のニーズを的確に把握しながら新たな方向に突き進む先見性と卓越した指導力で人材育成にも積極的に取り組み、建設業界の振興発展に寄与しております。</p> <p>また、山形商工会議所では永年に渡り役員を務め、建設業界の熟練技術者の養成や人材不足解消に向けた政策提言活動等を行い、建設業界の振興発展に尽力するとともに、民間レベルでの台湾交流深耕や中心市街地活性化などに大きく貢献されております。特に同社創業 100 周年事業として、旅籠町に歴史的石蔵を再生した「gu ra」を建設するなど、市民の多面的な利用が可能な新たなにぎわい拠点の整備に尽力していただいております。</p>			

2 表彰式

- (1) 日時 平成 30 年 12 月 12 日（水）午後 5 時から  
(2) 場所 山形グランドホテル

3 三浦記念賞とは

「三浦記念賞」は、公益財団法人三浦新七博士記念会が、山形市の産業経済の向上に功績があった個人又は団体に対して毎年授与しております。この賞は、昭和 38 年度に発足し、昨年度まで 91 個人、56 団体が受賞しております。

#### 4 公益財団法人三浦新七博士記念会とは

公益財団法人三浦新七博士記念会（代表理事：佐藤孝弘）は、故三浦新七博士が生前、念願してやまなかった山形市の産業経済の発展を図るため、産業経済の向上に功績があった個人又は団体に対する「三浦記念賞」の授与、商工業振興に関する調査研究、講演会の開催等の事業を行い、もって本市の産業経済の発展に寄与することを目的とし、昭和38年3月15日に設立されたものであります。

〔三浦新七博士…法学博士で文明史家。両羽銀行（現山形銀行）頭取、東京商科大学長、日銀参与などを歴任し、山形市の産業経済の発展に寄与した。〕

#### 5 選考基準

- (1) 発明、発見その他の開発研究により、本市産業経済の発展向上に顕著な功績を上げたものであること。
- (2) 商工業団体の育成強化に寄与し、又は商工業団体の活動を通して地域の振興に尽力し、その功績著明なものであること。
- (3) 商工業界の能率向上、合理化等に尽力し、著しく産業の発展に寄与したものであること。
- (4) 技術の向上、普及又は人材の育成に尽力し、商工業界の振興に貢献したものであること。
- (5) 異業種交流や新分野への進出を図り、新製品の開発、販路開拓に著しく功績のあるものであること

#### 【問合せ先】

(公財) 三浦新七博士記念会事務局  
(山形市商工観光部山形ブランド推進課内)  
TEL 641-1212 (内線 412)



平成30年度山形市ふるさと納税推進事業  
「フルーツ先行予約（平成31年産）」について

1 「フルーツ先行予約（平成31年産）」について

山形市の特産品を代表するフルーツの「山形ブランドの確立」を推進し、更なる寄附金額の増加を図ることを目的として実施します。

(1) 先行予約期間

平成30年11月9日（金）から平成31年3月31日（日）まで

(2) 協力提供事業者（順不同） 13事業者

山形農業協同組合、株式会社丸勘山形青果市場、株式会社マルセン醤油、株式会社ベジフル山形、有限会社山寺観光果樹園、ヤマイチ青果株式会社、佐竹物産株式会社、株式会社スプリングス、株式会社鬼嶋庄一郎商店、株式会社アスク、ふる里サクランボ園大曾根、株式会社リンベル、株式会社森からの恵み

(3) 先行予約商品及び提供数等（平成31年産 提供総数 148,960件※随時追加）

品目	寄附金設定額	提供数
さくらんぼ（佐藤錦又は紅秀峰）	10,000円～ 350,000円	96,710箱
ぶどう（シャインマスカット・キングデラなど）	10,000円～ 20,000円	14,000箱
もも（川中島・あかつきなど）	10,000円～ 20,000円	11,500箱
フルーツセット （【定期便】フルーツセット（計4回）ぶどう3種・5種セット・大粒系ぶどうのセットと黄金桃のセット）	10,000円～ 150,000円	26,130箱
体験型 （サクランボの木のオーナー権・サクランボ狩り体験チケット）	10,000円～ 90,000円	620件
	提供総数	148,960件



問い合わせ先

商工観光部山形ブランド推進課

ふるさと納税グループ

TEL023-641-1212 内407